平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名　ニチモウ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8091　URL　http://www.nichimo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小池　由紀夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長　(氏名) 八下田　良知　TEL 03-3458-3530

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	49,238	8.0	797	111.4	789	103.5	647	137.7
24年3月期第2四半期	45,575	8.2	377	△16.7	387	△16.7	272	△29.8

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　199百万円　(34.1%)　24年3月期第2四半期　148百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	19.02	18.82
24年3月期第2四半期	8.00	7.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	63,313	12,912	20.3
24年3月期	52,516	12,873	24.4

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　12,868百万円　24年3月期　12,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	5.00	5.00
25年3月期	―	―			
25年3月期(予想)			―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	7.2	1,100	10.3	800	△10.6	600	△6.5	17.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	37,874,000 株	24年3月期	37,874,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3,804,403 株	24年3月期	3,890,517 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	34,011,720 株	24年3月期2Q	33,986,512 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・２

(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・２
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・３
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・３

２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・３

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・３
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・３
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・４
(4)　追加情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

(1)　四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・７
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・７
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・８
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・９
(4)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・11
(5)　セグメント情報等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・11

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興関連などを背景とした国内需要は緩やかな回復傾向にあるものの、欧州債務危機問題を起因とした海外経済の減速懸念に加え、円高の長期化や株価の低迷など、景気は先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のなか、当社グループの事業基盤であります水産、水産加工・流通、食品の各分野におきましても、長引くデフレ経済環境のもと、先行き不安から消費者の生活防衛意識による節約志向や低価格志向が続くなど、依然として厳しい環境下にありました。

こうした情勢のもとで、当社グループは、中期経営計画「第125期３ヵ年経営計画」の最終年度として、市場の変化と顧客のニーズに柔軟に対応したきめ細かな営業展開に努めてまいりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は492億38百万円（前年同期比36億63百万円の増加）、営業利益は７億97百万円（前年同期比４億20百万円の増加）、経常利益は７億89百万円（前年同期比４億１百万円の増加）、四半期純利益は６億47百万円（前年同期比３億74百万円の増加）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

①食品事業

すり身部門では、東日本大震災で被災された練り製品会社が一部を除き生産を再開したことにともない、売上は増加いたしましたが、すり身製造子会社において原料高によるコスト上昇の影響を受け、営業利益は減少いたしました。鮮凍水産物部門では、カニは海外からの供給量が増加したことにより相場が下落するなか値頃感から販売が伸長し、助子は高品質な原料を中心に相場が高騰し販売時期が早まったことなどもあり、それぞれ売上、営業利益ともに増加いたしました。一方、北方凍魚は海外からの養殖ギンザケの供給量過剰の影響を受け大幅に価格が下落するなど、売上、営業利益ともに減少いたしました。また、加工食品部門でも、同様に海外からの養殖ギンザケの価格下落やデフレの影響を受け相場が低迷するなど、売上、営業利益ともに減少いたしました。

これらの結果、売上高は292億14百万円（前年同期比20億33百万円の増加）セグメント利益は２億35百万円（前年同期比１億86百万円の減少）となりました。

②海洋事業

漁網・漁具資材部門および船舶・機械部門では、東日本大震災の影響が未だ残るものの、底曳用、まき網用、定置用、マグロ養殖用漁具資材の販売が伸長し、また、船体一括の受注の増加などもあり、売上、営業利益ともに増加いたしました。養殖部門では、海苔養殖向け大型乾燥機の受注の増加や餌料関係商材の販売が堅調に推移するなど、売上、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、売上高は93億45百万円（前年同期比８億33百万円の増加）セグメント利益は７億21百万円（前年同期比４億21百万円の増加）となりました。

③機械事業

機械事業では、国内において大手練り製品業界や惣菜調理業界から新工場向け製造プラントを一括受注し、また、海外において欧州向け中華惣菜設備や米国向け製麺製造プラントなどの大型案件の受注を獲得いたしました結果、売上、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、売上高は43億30百万円（前年同期比７億30百万円の増加）セグメント利益は２億37百万円（前年同期比23百万円の増加）となりました。

④資材事業

合成樹脂部門では、国内での住宅部材シートや建材用加工品などの販売が堅調に推移し、また、海外での中国・韓国向け建材用加工品などの販売が伸長いたしました結果、売上、営業利益ともに増加いたしました。環境資材部門では、先の大震災の影響が残るものの、他地域への拡販や経費の圧縮に努めました結果、売上、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、売上高は53億58百万円（前年同期比３億40百万円の増加）セグメント利益は１億50百万円（前年同期比53百万円の増加）となりました。

⑤バイオティックス事業

バイオティックス事業では、大手健康食品メーカー向けに不妊治療に有効とされる素材「アグリマックス」の新規供給、薬局向けＯＥＭ商品や医師向けサプリメントの販売が堅調に推移いたしました結果、売上高は１億26百万円（前年同期比14百万円の増加）セグメント利益は２百万円（前年同期はセグメント損失10百万円）となりました。

⑥物流事業

物流事業では、九州地区における食品を中心とした運送業を展開し、徹底的なコスト管理や事業の選択と集中を推し進めてまいりましたものの、売上高は７億99百万円（前年同期比２億84百万円の減少）セグメント損失は69百万円（前年同期比65百万円の損失の減少）となりました。

⑦その他

その他の事業といたしましては、不動産の賃貸、生命保険および損害保険の代理業を行っており、売上高は62百万円（前年同期比４百万円の減少）セグメント利益は36百万円（前年同期比７百万円の増加）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は633億13百万円（前連結会計年度比20.5％増）となりました。

総資産の増加は、主として売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

（総負債）

当第２四半期連結会計期間末における総負債は504億円（前連結会計年度比27.1％増）となりました。

総負債の増加は、主として仕入債務、短期借入金及び長期借入金の増加によるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は129億12百万円（前連結会計年度比0.3％増）となりました。

純資産の増加は、主として利益剰余金の増加によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、38億35百万円（前連結会計年度末比10億24百万円の増加）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の38億65百万円の増加、たな卸資産の56億62百万円の増加及び仕入債務の18億31百万円の増加などにより72億32百万円のマイナス（前年同四半期は56億44百万円のマイナス）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形・無形固定資産の取得による支出１億５百万円及び長期貸付金の回収による収入67百万円などにより40百万円のプラス（前年同四半期は１億92百万円のマイナス）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額66億93百万円、長期借入れによる収入24億９百万円及び長期借入金の返済による支出６億26百万円などにより82億28百万円のプラス（前年同四半期は53億36百万円のプラス）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の業績予想につきましては、前回公表（平成24年５月11日）いたしました連結予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,948	5,925
受取手形及び売掛金	14,298	18,145
商品及び製品	14,057	19,879
仕掛品	545	537
原材料及び貯蔵品	1,786	1,620
前渡金	2,802	3,552
繰延税金資産	9	22
その他	409	395
貸倒引当金	△121	△111
流動資産合計	38,736	49,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,544	6,659
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,844	△4,921
建物及び構築物（純額）	1,699	1,737
機械装置及び運搬具	4,524	4,575
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,272	△3,391
機械装置及び運搬具（純額）	1,251	1,184
工具、器具及び備品	609	632
減価償却累計額及び減損損失累計額	△505	△526
工具、器具及び備品（純額）	103	105
土地	2,246	2,215
建設仮勘定	－	1
有形固定資産合計	5,301	5,244
無形固定資産		
のれん	7	5
その他	368	385
無形固定資産合計	376	391
投資その他の資産		
投資有価証券	6,580	6,045
長期貸付金	456	389
破産更生債権等	1,535	1,469
長期預金	300	300
繰延税金資産	－	218
その他	710	713
貸倒引当金	△1,519	△1,460
投資損失引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	8,050	7,662
固定資産合計	13,727	13,298
繰延資産		
社債発行費	52	44
繰延資産合計	52	44
資産合計	52,516	63,313

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,047	12,874
短期借入金	16,224	22,918
1年内償還予定の社債	125	62
1年内返済予定の長期借入金	1,186	1,109
未払法人税等	93	122
賞与引当金	396	354
役員賞与引当金	20	―
事業構造改善引当金	143	143
その他	1,528	2,101
流動負債合計	30,764	39,686
固定負債		
社債	3,500	3,500
長期借入金	4,329	6,180
長期未払金	69	61
繰延税金負債	100	108
退職給付引当金	459	485
役員退職慰労引当金	107	119
負ののれん	72	50
その他	239	207
固定負債合計	8,878	10,714
負債合計	39,643	50,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,411	4,411
資本剰余金	22	22
利益剰余金	9,802	10,265
自己株式	△1,105	△1,080
株主資本合計	13,131	13,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	543	167
繰延ヘッジ損益	15	△5
為替換算調整勘定	△861	△912
その他の包括利益累計額合計	△302	△749
新株予約権	44	44
少数株主持分	0	0
純資産合計	12,873	12,912
負債純資産合計	52,516	63,313

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)
売上高	45,575	49,238
売上原価	41,600	44,937
売上総利益	3,974	4,300
販売費及び一般管理費	3,597	3,503
営業利益	377	797
営業外収益		
受取利息	31	8
受取配当金	76	58
持分法による投資利益	123	147
貸倒引当金戻入額	1	1
その他	105	104
営業外収益合計	338	320
営業外費用		
支払利息	281	278
その他	46	50
営業外費用合計	327	328
経常利益	387	789
特別利益		
土地売却益	－	11
関係会社株式売却益	－	4
補助金収入	－	40
受取保険金	－	65
特別利益合計	－	122
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産除却損	1	2
投資有価証券評価損	2	96
ゴルフ会員権評価損	－	5
損害賠償金	－	68
特別損失合計	4	172
税金等調整前四半期純利益	383	738
法人税、住民税及び事業税	73	100
法人税等調整額	37	△8
法人税等合計	110	91
少数株主損益調整前四半期純利益	272	647
少数株主利益	0	0
四半期純利益	272	647

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	272	647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	△364
繰延ヘッジ損益	△21	△21
為替換算調整勘定	△118	△50
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△11
その他の包括利益合計	△123	△447
四半期包括利益	148	199
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	148	199
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	383	738
減価償却費	234	253
のれん償却額	20	1
負ののれん償却額	△21	△21
繰延資産償却額	7	7
賞与引当金の増減額（△は減少）	9	△41
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	－	△20
退職給付引当金の増減額（△は減少）	36	38
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△61	△67
災害損失引当金の増減額（△は減少）	5	－
受取利息及び受取配当金	△108	△66
持分法適用会社からの配当金の受取額	15	9
支払利息	281	278
持分法による投資損益（△は益）	△123	△147
関係会社株式売却損益（△は益）	－	△4
投資有価証券評価損益（△は益）	2	96
ゴルフ会員権評価損	－	5
有形固定資産売却損益（△は益）	0	△11
有形固定資産除却損	1	2
受取保険金	－	△65
補助金収入	－	△40
損害賠償損失	－	68
売上債権の増減額（△は増加）	△3,588	△3,865
たな卸資産の増減額（△は増加）	△4,795	△5,662
前渡金の増減額（△は増加）	△635	△750
前受金の増減額（△は減少）	93	558
仕入債務の増減額（△は減少）	3,070	1,831
割引手形の増減額（△は減少）	57	71
その他	△386	△173
小計	△5,500	△6,978
利息及び配当金の受取額	113	68
利息の支払額	△215	△290
保険金の受取額	－	65
補助金の受取額	－	40
損害賠償金の支払額	－	△68
法人税等の支払額	△41	△69
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,644	△7,232

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△28	△13
定期預金の払戻による収入	27	56
有形及び無形固定資産の取得による支出	△224	△105
有形及び無形固定資産の売却による収入	2	42
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	－	5
短期貸付金の純増減額（△は増加）	△28	2
長期貸付けによる支出	△52	△2
長期貸付金の回収による収入	122	67
その他	△5	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△192	40
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	5,715	6,693
長期借入れによる収入	212	2,409
長期借入金の返済による支出	△472	△626
社債の発行による収入	3,445	－
社債の償還による支出	△3,562	△62
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1	△169
少数株主への配当金の支払額	－	△0
その他	－	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,336	8,228
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	△12
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△528	1,024
現金及び現金同等物の期首残高	3,405	2,811
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	35	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,912	3,835

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
【セグメント情報】
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオティックス事業	物流事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	27,181	8,512	3,600	5,018	112	1,084	45,508	67	45,575	－	45,575
セグメント間の内部売上高又は振替高	26	4	－	－	－	－	31	－	31	△31	－
計	27,208	8,516	3,600	5,018	112	1,084	45,539	67	45,606	△31	45,575
セグメント利益又は損失（△）	422	299	214	97	△10	△134	888	29	917	△540	377

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。
2 セグメント利益の調整額△540百万円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオティックス事業	物流事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	29,214	9,345	4,330	5,358	126	799	49,175	62	49,238	－	49,238
セグメント間の内部売上高又は振替高	58	279	56	127	－	－	522	－	522	△522	－
計	29,272	9,625	4,387	5,486	126	799	49,697	62	49,760	△522	49,238
セグメント利益又は損失（△）	235	721	237	150	2	△69	1,279	36	1,315	△518	797

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。
2 セグメント利益の調整額△518百万円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。